

2026 年 7 月 5 日
JK1GBE ジィビー

今回は TWO-FORTY 誌第 124 号「6m2 段 GP の故障（その 1）」の修理結果を寄稿させていただく。
故障としては、交信中に急に VSWR が上がってしまう現象(接触不良のような)が発生し、そのうち殆どハイレベルになって使えなくなるというもの。

対策としては、①位相整合トラップ内のカシメ部とハンダ部の再ハンダを実施。②基部のローディングコイル先端部の割りピンを少し広げてテナメイトを塗布。コイルの白い絶縁箇所にも再ハンダを実施、ガタのある箇所は接着剤で固定。

再組立は、カットした位相整合トラップのカバーを金属バンドで両サイドを固定後に自己融着テープでぐるぐる巻きにした。アンテナ基部の壊したカシメ部は再カシメ不可で動作には影響なさそうなのでそのまま使用した。その後、アンテナをもとのマストに設置し動作確認を実施。

修理結果としては、接触不良はなくなったが VSWR が 2.3 から下がらず、取り敢えず TUNER を入れて 1.1 に下がりどうにか使用できるようになった。何かのご参考となれば幸いです。Tnx！



(位相整合トラップ)

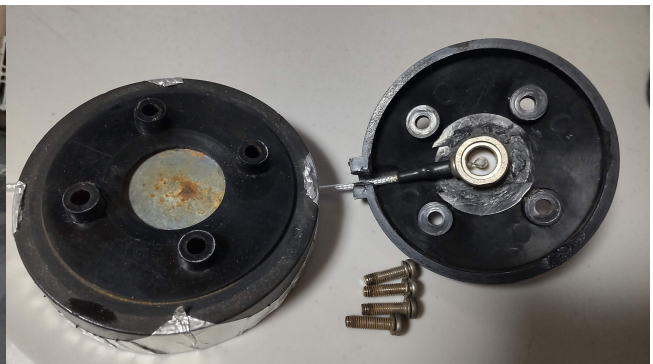


(ローディングコイル)

参考：ハンディ機用ホイップのモバイル利用例



端切れアルミ板でグランドプレーンを試作
VSWR は若干下がったがアルミの直径が適当
だったので改良の余地あり



マグネット基台の同軸交換
3D2V(5.2mm)⇒RG316(2.5mm)テフロンで
ドアからの引き回しが楽に